

期待される効果の一例 ★両研修とも、参加者同士の交流やつながりも期待できます。

カリキュラム・デザイン・コース

- 学校教職員……授業でどのように環境教育を取り上げたらよいか演習を交えて学ぶことができる。
- 教育委員会……教職員向けの環境教育・ESDの実践研修としても参考になる。
- 行政関係者……環境教育・ESDの現状・課題等を施策等に反映できる。

プログラム・デザイン・コース

- 学校教職員……体験活動の実践や事業者等と連携する方法等について学ぶことができる。
- 行政関係者……体験の機会や体験活動の実践を理解することにより、施策等に反映できる。
- NPO・企業関係者……他団体の体験プログラムを実際に体験し自団体の取組に生かすことができる。

過去参加者からの声

カリキュラム・デザイン・コース

【集合型研修の参加者より】

- 他校の教員、教育関係者と意見交換ができたことが参考にも刺激にもなり、同じ悩みを抱える方々との出会いが励みになった。
- 新たにカリキュラムを作るのではなく、今、学校にある資源や日々の教育活動の中で、視点を変えたり、ESDやSDGsの意味づけを加えていけば、ESDとして取り組めることに気づけた。

【講師派遣型研修の参加者より】

- 難しく考える必要がなかったということに気づくことができた。今やっていることにESDの視点を加えて行っていけばいい、その方法・方向性が見えたと思う。

プログラム・デザイン・コース

- 自分の体験だけでなく、講義やグループワークを通していろいろな考え方や視点を得ることができた。またESDに対して意欲の高い方々とお会いできたことで刺激を受けた。(学校関係者)
- 生徒が自然の中で体験する際に、生徒自身の達成感や充実感、自然への愛着につなげるために、どの程度準備するのか、どの程度選択させて主体的に活動させるのかを考えるいい機会になりました。(教育委員会)
- 自然体験のプログラムに関するポイントだけでなく、経験学習サイクルや組織の循環モデルなど場づくりの考え方についても知ることが出来た。(大学生)

～「ESD活動支援センター」をご活用ください～

ESD活動支援センター

環境省及び文部科学省により全国センター及び地方8センターが設置されています。学校と地域、企業等をつなげる中間支援組織として、環境教育等に関する相談対応や、各主体同士の学び合いを促す取組等多くの経験と知見を有しています。学校等におけるESDの推進等に当たって、ESD活動支援センターを是非ご活用ください。

<https://esdcenter.jp/> ESD活動支援センター

学校におけるESD活動支援センターの活用例

- 環境問題をテーマとした探究学習などの授業内容・構成に関する相談や実践支援
- 環境分野に取り組む企業やNPO等の外部講師の紹介
- 児童生徒の成果発表や多様な立場・世代の人との学び合いの機会の提供
- 環境教育、ESDに関する教材・プログラムの紹介
- 教職員等を対象にした環境教育、ESDに関する研修等の紹介等

申込方法

研修公式サイト内、各コースの「お申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、送信して下さい。
講師派遣型研修のみ、研修運営事務局まで直接メールでご相談ください。

研修公式サイト https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher

研修運営事務局 E-mail: esd-kensyu@jeef.or.jp

申込締切 各研修日の1週間前

※定員に達し次第、締め切ります。

受講料 無料

※研修会場・集合場所までの旅費や昼食代等は自己負担となります。

お問い合わせ先 研修運営事務局 公益社団法人日本環境教育フォーラム内(担当：金久保、中地)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル1階

TEL: 03-5834-2897 E-mail: esd-kensyu@jeef.or.jp

※テレワークを実施しています。
お問合せはできるだけメールでご連絡ください。

未来をつくる、人をはぐくむ。



環境省ESDキャラクター「はぐくん」



令和6年度

教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修

～SDGs達成に向けた環境教育・ESD実践講座～



https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher

環境省では、文部科学省の協力の下、持続可能な社会の構築を目指して、さらにはSDGsという世界共通の未来の価値を相互に磨き合う協働・共創を通して、学校や地域における質の高い環境教育・ESDを実践・推進するリーダー人材を育成することを目的に、本研修を開催します。

受講料
無料

研修内容

本研修では、学校におけるカリキュラム・マネジメント等の実践力向上を目指す「カリキュラム・デザイン・コース」と、環境教育における体験活動の実践力向上を目指す「プログラム・デザインコース」の2つを設けています。

※詳細は中面を参照ください。

カリキュラム・デザイン・コース

環境教育・ESDのカリキュラムをデザインする力を養うことにより、学校や地域において、教科横断型で地域共生の視点を取り入れた環境教育・ESDを実践・推進していくリーダー人材を育成することを目的とした研修です。

内容

基礎編：オンライン型研修 と **実践編：対面型研修** を各2回開催します。
基礎編のオンライン型研修では、講義と実践事例紹介(校種別)等を行い、環境教育・ESDの基礎について学びます。
実践編の対面型研修では、校種別のグループワークで、各教科と関連させた環境教育・ESDの年間指導計画表作成や総合的な探究の時間を中心とした教科横断・地域連携の学習活動の整理等を行います。

対象

基礎編(オンライン型研修)
環境教育・ESD・SDGsに取り組みたい教職員、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、地方公共団体、大学生・大学院生等

実践編(対面型研修)
学校関係者(小・中・高校等の教職員等)、教育委員会、地方公共団体など学校教育に関わりのある方

【講師派遣型研修】
全国10か所
(2時間～6時間程度)

学校、教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して講義とグループワークを行います。環境教育・ESDのカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、講師派遣を希望する団体のニーズに沿う形で、研修の日程・内容等を調整します。

プログラム・デザイン・コース

持続可能な社会を構築するための取組と環境教育・ESDとの関係を、五感を使って体験し、多様な主体と共感を分かち合いながら、体験活動を企画・実践していくリーダー人材を育成することを目的とした研修です。

内容

事業者が提供している「体験活動」を実際に体験したり、取組に携わる人と交流したりするほか、得られた気づきや学びを参加者同士で共有するためのグループワーク等を実施します。研修は「体験の機会」に加え、国立公園・国定公園における研修も開催します。
体験の機会：6回、国立公園・国定公園：2回

対象

学校関係者、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、大学生・大学院生等の環境教育・ESDや体験活動、地域づくりに関心のある人

※各回、近隣の主要な駅等から無料送迎バスを用意する予定です。



カリキュラム・デザイン・コース

内容

環境教育・ESDのカリキュラムをデザインする力を養うことができるよう、講義と実践事例紹介やグループワークでの演習で構成します。基礎編のオンライン型研修では、講義と実践事例紹介(校種別)を行い、環境教育・ESDの基礎を学びます。幅広い層の参加者を募集します。実践的な演習等をご希望の方は、ぜひ実践編の対面型研修にもご参加ください。

実践編の対面型研修では、講義はYouTube動画による事前視聴とし、校種別グループで各教科等と関連させた環境教育・ESDの年間指導計画表の作成、または総合的な探究の時間を中心とした教科横断・地域連携の学習活動の整理等を行い、学校教育での展開につなげます。

基礎編：オンライン型研修

講義と校種別で実践事例紹介、質疑応答等を行い、環境教育・ESDの基礎やカリキュラム・デザインのポイント等について学びます。オンライン会議システム「Zoom」を使って開催します。両日ともに同内容ですので、いずれかにご参加ください。

※実践事例紹介は、ブレイクアウトルームで小・中学校チームと高等学校チームに分かれてお聴きいただけます。

日時 1回目 7月30日(火) 15:00～17:00
2回目 8月3日(土) 15:00～17:00

定員 各回500名まで

対象 環境教育・ESD・SDGsに取り組みたい教職員、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、地方公共団体、大学生・大学院生等

実践編：対面型研修

演習の説明、校種別(小中学校チーム、高等学校チーム)のグループワークで演習を行います。同内容の研修を東京と大阪で開催します。

- 小中学校チーム：各教科等と関連させた環境教育・ESDの年間指導計画表[ESDカレンダー]の作成
- 高等学校チーム：総合的な探究の時間を中心とした教科横断・地域連携の学習活動の整理等

※講師による講義は、事前学習としてYouTube動画にて事前視聴いただけます。
※研修受講にあたり、予習を兼ねた事前課題シートの作成が必要です。

日時 9月14日(土) 10:30～16:00(予定)
会場 ビジョンセンター東京駅前(東京都中央区八重洲1-8-16) JR東京駅 八重洲中央口より徒歩約1分

日時 10月5日(土) 10:30～16:00(予定)
会場 OMM(大阪府大阪市中央区大手前1-7-31) 京阪電車・Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅から徒歩直結

定員 各回100名程度

対象 学校関係者(小・中・高等学校等の教職員)、教育委員会、地方公共団体など学校教育に関わりのある方

講師派遣型研修 全国から10か所を募集します。

学校、教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して講義とグループワークを行います。環境教育・ESD・SDGsのカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、講師派遣を希望する団体のニーズに沿う形で、研修の日程・内容等を調整します。既にESDカレンダーを取り入れている学校については、その評価手法やブラッシュアップなど学校の進捗状況に沿った研修を行うこともできます。また、ホールスクール・アプローチの向上につなげることもできます。

- 条件**
- 研修参加者が原則として20名程度以上確保できること
 - 研修時間を2～6時間程度以上確保できること
 - 研修会場(会議室、教室等)を確保できること
 - 参加者に研修直後の事後アンケート及び数か月後に行うフォローアップアンケートにご協力をいただけること。

日程 日程や研修内容などは、派遣先の希望等に応じて柔軟に対応していきます。

講師 環境教育・ESDの実践・指導経験が豊富な講師陣です
(敬称略・五十音順)



いしだ 石田好広
目白大学 人間学部 児童教育学科 教授



せきくち 関口寿也
東京都多摩市立 蓮光寺小学校 校長



たてもと 建元喜寿
筑波大学附属 坂戸高等学校 主幹教諭



プログラム・デザイン・コース

内容

持続可能な社会づくりへの主体的な参加を促進していくうえで有効な「体験活動」を企画・実践する力を養うことができるように、事業者が提供している「体験活動」を実際に体験したり取組に携わる人と交流したりするほか、得られた気づきや学びを参加者同士で共有するためのグループワーク等を実施します。

対象

学校関係者、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、大学生・大学院生等の環境教育・ESDや体験活動、地域づくりに関心のある人

〈体験の機会の場〉

環境教育等促進法に基づき、都道府県知事等によって認定された「体験の機会の場」において、体験型環境教育の質の向上や専門的な人材育成が推進されることを目的に設立された「体験の機会の場」研究機構(<https://esd-place.org/>)と連携して行います。内容や時間、定員等の詳細については研修公式サイトにてご確認ください。

※体験の機会の場とは、環境教育等促進法に基づき、都道府県知事等によって認定された安全性の基準を満たし、質の高い体験プログラムを提供する学習拠点です。
※各回、近隣の主要な駅等(変更の可能性あり)から無料送迎バスを用意する予定です。

①ホンダモビリティランド株式会社

日程 2024年9月29日(日)
会場 モビリティリゾートもてぎ(栃木県茂木町)
送迎バス発着場所 JR宇都宮駅

②加山興業株式会社

日程 2024年10月26日(土)
会場 加山興業株式会社施設及び養蜂場所(愛知県豊橋市)
送迎バス発着場所 JR豊橋駅

③株式会社オガワエコノス

日程 2024年11月4日(月・祝)
会場 株式会社オガワエコノス施設及び周辺環境(広島県府中市)
送迎バス発着場所 JR福山駅

④サンデン株式会社

日程 2024年11月30日(土)
会場 サンデンフォレスト(群馬県前橋市)
送迎バス発着場所 JR高崎駅

⑤藤グリーン株式会社

日程 2024年12月13日(金)
会場 藤グリーン株式会社施設(岡山県岡山市)
送迎バス発着場所 JR岡山駅

⑥朝日テクノ株式会社

日程 2025年1月26日(日)
会場 朝日テクノ株式会社 いまり こまなきの里山(佐賀県伊万里市)
送迎バス発着場所 JR佐賀駅

〈国立公園・国定公園〉「体験の機会の場」に加え、国立公園における研修も実施します。

尾瀬国立公園

実施者 松井孝夫(群馬県立尾瀬高等学校活性化委員会 専門委員)
日程 2024年8月19日(月)
体験の場所 鳩待峠～尾瀬ヶ原
送迎バス発着場所 JR上毛高原駅 JR沼田駅 尾瀬戸倉

琵琶湖国定公園

実施者 中村大輔(ラムサールセンター)
日程 2025年1月18日(土)
体験の場所 琵琶湖水鳥・湿地センター 他
送迎バス発着場所 JR米原駅



たなはし 棚橋乾
全国小中学校 環境教育研究会 顧問



まえだ 前田修之
佐賀大学教育学部附属 特別支援学校 校長



まつい 松井孝夫
尾瀬高校 活性化委員会 専門委員



まつぶち 松葉口玲子
横浜国立大学 教育学部 教授